

## アメリカ アラスカ州 ワシラ高校 畑 さん

留学期間：H29.9～H30.6（1年間）

2017年8月から2018年6月までの10ヵ月間、アラスカ州のワシラ高校に留学しています。海外の学校に10ヵ月近くも通うのは初めての経験で、留学を始めてまだ5ヶ月程しか経っていませんが、日本との違いを沢山見つけました。

まず、生徒と先生の距離感が日本とは全く違います。日本では先生はまさに“先生”という感じですが、こちらの先生はもっと友達に近いというか心の距離が近く、毎日のように世間話をしたり、冗談を言い合ったり、もちろん授業についての質問もしやすく、日本での先生とは違った良いところがあります。次に、授業中の生徒の積極性。これはよく日本の学校でも話題になると思うのですが、こちらの生徒は受け身の授業ではなく、授業中にどんどん質問をするので無駄な時間がなく、ただ座って聞いているだけの受け身の授業にはなりません。



クラスメイトと



ホストシスターの友人たちと



ジャーナリズムの授業風景

私が通っている学校には中学3年生から高校3年生までがいて、日本の大学のように授業は自分の取りたい科目を自分で選択できます。私は医療系に興味があるので解剖学を取っています。高校生のころから専門的なことを学ぶことが良いことなのかどうかは分かりませんが、日本の高校との違いがおもしろいと思います。

また、ワシラ高校には1,200人もの生徒がいます。いろいろな国から、第一言語が英語ではない生徒もいて、学校が小さな世界みたいで、毎日貴重な体験をしています。アラスカはとても寒い州で、毎日氷点下になります。今年は珍しく雪が全く降らず「全然寒くない」とホストファミリーは言いますが、日本人の私には本当に寒いです。そんな寒い毎日なのに学校では半袖を着ている生徒がいたり、靴下を履かずにサンダルを履いている生徒がいたりして不思議に思います。

留学を始めてこれまでの5ヵ月間は、日本とアラスカの違いばかり見つけてきたので、これからは何か同じところや似ているところを見つけていきたいと思います。



アラスカの自然のなかで

毎日英語にふれられることも、自分と違う習慣や価値観を持った人たちと同じ時間を一緒に過ごせることも、全く違う生活をできるのも、すごく貴重なことだと感じています。この10ヶ月間で英語力がものすごく上達することは難しいかもしれませんが、英語に毎日ふれられるこの幸せな環境にいても「もっと英語を学びたい」と思えます。

この留学が将来にどう繋がるかはまだ分かりませんが、とにかく英語に浸かることのできる毎日を楽しみ、留学が終わった後につなげられるような10ヶ月間にしたいです。この貴重な経験ができる毎日を大切に過ごそうと思います。



ホストファミリーとのクリスマス